

ゼニタナゴ・初めての稚魚誕生！

「ゼニタナゴの生息地の復元」活動報告

会では、WFFジャパン（財）世界自然保護基金ジャパンの支援を受け、神奈川県水産総合研究所 玉川大学農学部生物化学研究室と協力して、ゼニタナゴとその生息環境の復元に取り組んでいます。今年は研究所の「協力によって、一匹ではありませんが初めて貝から稚魚を誕生させることができました。この一匹の誕生が、より多くの子孫を生み出すきっかけとなることを願っています。」

ゼニタナゴはコイ科の九センチほどの美しいタナゴです。以前は奈良川の源流の一つである本山池ほんざんいけにたくさん生息していましたが池の水質悪化から激減し、今では国の絶滅危惧種となっています。

ゼニタナゴは他のタナゴと違い、秋に貝(ドブガイ)の中に産卵し、幼生が貝の中で越冬して、春、稚魚となって貝から浮上します。半年間も貝の中にいるわけですが、この貝自身が絶滅に瀕しており、飼育も困難で、ゼニタナゴ増殖のネックとなってきました。

最新の研究で貝が意外な大食漢だとわかり、貝が死ぬのは栄養不足が主要な原因であると考えられたため、今年は池のそばにプランクトンの発生装置を作り、エサの補給をしました。また、池の底の土は、貝が潜って暮らすだけでなく、貝の食料となるプランクトンが発生する基でもあるため、新しく荒木田土を補給しま

所の助けを借り、たった一匹ですが成魚となりました。絶滅寸前のゼニタナゴに、やっとの事で一つの命が生まれました。

今年の秋には新たに元気な貝が入手でき、ゼニタナゴの産卵も始まっています。

一方、本山池の下に位置する手堀りの池では、竹炭とマイクロバブル発生装置による水の浄化実験が順調です。この池にも新たに貝を入れまし

た。絶滅寸前のゼニタナゴを救い、将来本山池や奈良川でゼニタナゴが泳ぐ日を夢見て奮闘中です。

した。

昨年秋、実験池に新しい貝を入れ、ゼニタナゴの親が早速産卵してから約半年、浮上の最終段階で研究

「水と緑の軸」となった奈良川源流域「青葉区まちづくり指針」の原案発表

九月十七日、横浜市青葉区より、「青葉区まちづくり指針」

の原案が発表されました。奈良川源流域は、区が独自に導入した「水と緑の軸」の一部となっています。

横浜市青葉区では、都市計画法の改正による横浜市の都市計画マスタープランの策定を受け、その区版に当たる「青葉区まちづくり指針」を昨年度より検討してきました。この指針は二十年後の青葉区の将来像を描くものです。この指針の策定は住民参加型で行なわれ、区の公募に手を挙げた区民六十名が一年かけてまとめた区民案を、区の家

た。

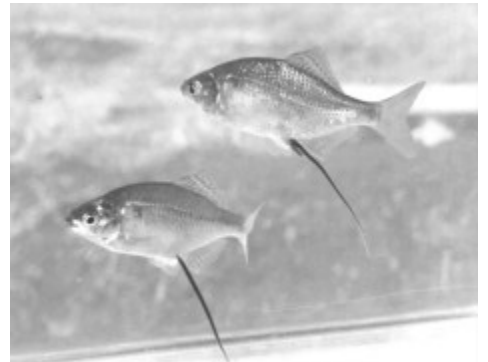
この区民案では、奈良川源流域は環境保全地域という扱いになっていましたが、今回の原案の発表に先立ち区が公表していた素案では、「奈良川とその周辺の田園風景を保全し、多様な生物が生息する環境の保全・回復をはかる」とうたってはいましたが、奈良川源流域が「水と緑の軸」として図示されていませんでした。

このほか、源流域である玉川学園内の広大な協定緑地が図示されていなかったり、源流部分の奈良川も図示されていないなど疑問点があったため、当会ではこの素案の説明会を区に要望

した結果、五月二十六日、奈良地区センターにおいて当会に対する説明会が開催され、活発な意見交換が行われました。

その後、七月十九日と九月十一日、青葉区役所において行われた当会の役員と区政推進課との話し合いによって、協定緑地と奈良川を図示し、「水と緑の軸」を土橋谷戸まで伸ばすことが決まりました。

当会ではこの指針を具体化し、典型的な谷戸・里山の要件をそなえた奈良川源流域の貴重な自然を守り次世代の子供たちに受け継いでいくために、行政との意見交換を今後とも続けていくことにしています。



源流域情報

谷戸の鳥の調査

本格的に開始!

鳥たちの楽園となっている奈良川源流域の谷戸ですが、いつ、どんな鳥たちが訪れるのか、一年を通した定期的な調査は行われたことがありませんでした。

そこで、玉川大学の田淵俊人先生に調査方法をご指導いただき、今年五月より、当会会員の仲俣さん、猪俣さんのお二人が毎月谷戸全体の調査をしています。

お二人と去財)日本野鳥の会会員として長く鳥たちをみてきたベテランです。当会ではこのよつな谷戸の生態系を明らかにする基礎データを元に、谷戸保全のための活動を進めていきます。

野川会長に聞く 谷戸の鳥近況報告

最近の谷戸の様子はどんなですか?
会長:そろそろ冬鳥が渡ってきているよ。

谷戸の鳥たちはどんな様子ですか?
会長:...

夏の宵、 螢を見に出かけませんか?

手つかずの自然が残る奈良川源流域



ゼンタナゴはカラス貝に卵を産みます

ウィークリー

vol.530



この地に千年前かあると... 谷戸の鳥の調査... 本格的に開始!

谷戸の鳥たちはどんな様子ですか? 会長:...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

谷戸には多くの所有者の土地があり、農業という仕事場もある。...

**タウン誌「ウィークリー」
奈良川源流域が紹介される**

七月十二日、タウン誌「ウィークリー」(市が尾、青葉台方面に配布)の一面トップに、地域の貴重な自然地域として当会会長に取材した紹介記事が掲載されました。

緑山ハーブ・ガーデン
ナチュラパス
最新情報
クリスマスローズの苗は
いかが?
秋も深まり、緑の中のハーブガーデン ナチュラパスでは人気のクリスマスローズの苗がそろいました。子ウサギやヤギと遊んだら、ハーブティーと庭で採れたフルーツの入ったキーキで一休みしましょう。詳細は 〇四五・九六一・一六八三 ナチュラパスまで。ホームページも公開中です。
<http://www.naturapath.net/>

入会案内 (入会随時)

会費/年間二千元(家族は無料)
会員の方には、会報「カワセミダより」をお送りして定例会のお知らせをするほか、随時催し物のご案内をいたします。

連絡先/奈良川源流域を守る会
事務局 電話/アクセス兼用)
(〇四五九六一四五七)山田
E-mail:nara@interlink.or.jp
インターネット上の当会のページでは、会報のバックナンバーがカラーでご覧になれます。
<http://home.interlink.or.jp/~nara/>